

【投資】	魅力ある歩行者優先の道づくり	予算額	164,238 千円
------	----------------	-----	------------

事業の目的・概要

まちの景観向上や安全で快適な歩行空間を確保するため、身近なアクセス道路の整備や生活道路の安全対策を進めます。また、災害時における防災性の向上などを図るため、道路の無電柱化を推進します。

主な取組内容

➤ 身近なアクセス道路の整備

旧水路敷を利用した遊歩道の整備を進めます。
令和5年度は、荻窪二丁目（延長：約60m）の工事及び阿佐谷北一丁目（延長：約80m）の設計を行います。



旧水路敷の整備例

➤ 安全な暮らしの道の整備

生活道路における歩行者の安全性向上を図るため、「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」で安全対策路線として選定した道路について、区民や警察署とも協力しながら安全対策を実施します。

令和5年度は、阿佐谷南二丁目地内路線などの安全対策を実施します。



安全対策の整備例

➤ 無電柱化の推進

防災性、安全性及び景観の向上を図る観点から、「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、都市計画道路の整備に合わせて無電柱化を推進するとともに、歩道の無い生活道路の無電柱化を推進します。

令和5年度は阿佐ヶ谷駅北東地区内の無電柱化整備のため電線共同溝の予備設計を実施します。



無電柱化の整備例
(特別区道 2101-1 号線)